

IP Phone : ビジー時のコール転送により速いビジー音が発生する

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[コール自動転送](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、発信者に、コールが転送された番号から速いビジーが聞こえ、転送されたコールが失敗するときの Cisco IP Phone での速いビジーに関する問題を解決する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified 通信マネージャ
- Cisco 7900 シリーズ IP Phone

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified CallManager 4.x
- Cisco Unified 通信マネージャ 5.x
- Cisco IP Phone 7960

この文書に記載されている情報は Cisco Unified 通信マネージャに 4.1(3) 基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく

必要があります。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[コール自動転送](#)

自動転送は被呼加入者が忙しくまたは利用できないのでコールが IP Phone に伸びるが、未解答に行きまずとき使用されます。転送された コールは別の電話番号か音声メール数に送信することができます。

[問題](#)

コールを転送するために Cisco IP Phone が設定 されるとき転送された コールははたらかないし、発信者は使用中か実行されたトーンを聞きます。これは内部および外部転送された コールのために発生します。

[解決策](#)

自動転送は前方ループ防止が MaxForwardsToDn カウンターのリークが不当に引き起こされた原因であるので失敗します。

前方最大ホップ数: カウンターはコールがそのダイヤル番号から転送されるたびに増分します。コールがクリアされるか、または接続されれば、カウンターは減少されます。このロジックは CCM の間で外部ループと PSTN、か CCM および別の PBX 検出する、クリアします。

Cisco Unified CallManager はこのパラメータで規定 されるホップの数が超過し、最終宛先が利用できなければ場合コールを終了します (たとえば、使用中か登録済み)。このパラメータで規定されるホップの数が超過する場合、コールは終了します。呼び出しの突進が同時に入り、答えられない場合、この数は最大を増加し、超過する可能性があり呼び出しは終了します。

この問題を解決するために、MaxForwardsToDn カウンターをリセットするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. phonethat のフックを離れて持ち、高いカウンターを CCM に登録します行って下さい:電話がコードを受け入れることを可能にするために dialpad から *****30** を入力して下さい。
2. 同じ Cisco IP Phone のフックを離れて再度行き、dialpad から **MaxForwardsToDn** カウンターをクリアするために *****35** を入力して下さい。
3. 問題が解決するかどうか確認するために IP Phone に呼び出しを完了して下さい。

[関連情報](#)

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)